

令和7年度 滑川市立北加積小学校 アクションプラン

アクションプラン 1 (確かな学力)

達成目標	学校教育に関するアンケート 以下の項目において A (よくあてはまる) B (どちらかといえば当てはまる) の合計 知①「子供は、読書をしていますか。」保護者 75%以上、児童 80%以上 知②「子供は、漢字や計算などの基本的な学習が身に付いていますか。」保護者、児童共に 80%以上
方 策	・毎学期末に漢字・計算大会を行い、合格点 80 点以上として、それに向けて基礎・基本の定着を目指す。合格者には、ミニ賞状を渡し、日々の学習の成果を実感したり、さらなる意欲を高めたりできるようにする。また、漢字・計算大会や学期末のまとめの時期に合わせて、「〇学期まとめ週間」を2週間設け、その学期の学習をまとめて、振り返ることができるようにする。 ・自主学習の例として、家庭学習のポイントや目標時間、学習例を示す。また、自主学習ノートには冊数シールを配付したり、各教室に並べたりすることで子供自身が自分の積み上げを見えるようにする。5冊以上取り組んだ児童は、全校児童の前で表彰する。職員室前に自主学習ノートを掲示することで、ノートづくりを参考にできるようにする。 ・週1回、北サボ教室を開き、分からないことを聞く場を設け、学習内容への理解を深めたり、できる喜びを実感したりする。 ・週1回、家庭で読書を行う日を設ける。読書をし、あらすじや感想を書いたり、友達に伝え合ったりする。読書だけでなく、読み聞かせも積極的に行う。また、月末に親子で読書をする日を設ける。

アクションプラン 2 (豊かな心)

達成目標	学校教育に関するアンケート 以下の項目において A (よくあてはまる) B (どちらかといえば当てはまる) の合計 徳①「子供は、進んで挨拶をしていると思いますか。」保護者、児童共に 80%以上 徳②「子供は、友達の気持ちを考えた言動をしていると思いますか。」保護者、児童共に 80%以上
方 策	・企画運営委員会が中心となって、児童が主体的に「よりよい挨拶」を目指してあいさつ運動に取り組む。 ・特別の教科 道徳では各学年の実態に応じて「親切、思いやり」等を題材にした教材を基に、児童に考える機会をつくる。 ・挨拶が活発になるように、学期初めや学期終わり等に挨拶の意義を考える機会をつくる。 ・「豊かな心の森」を掲示し、言われて嬉しかった「あったかエピソード」等を葉や花に書いて貼っていき、視覚的に分かりやすいものをつくる。また、企画運営委員会が昼の放送で紹介することを通して、「あったかエピソード」を広げる。

アクションプラン 3 (健やかな体)

達成目標	学校教育に関するアンケート 以下の項目において A (よくあてはまる) B (どちらかといえば当てはまる) の合計 体①「学校や地域で進んで運動や外遊びに取り組んでいます」保護者、児童共に 80%以上 体②「家で決めたメディアのルールを守っていますか。」保護者、児童共に 80%以上
方 策	体① ・毎週水曜日を「運動デー」とし、全校に呼びかける。(体育委員会) ・遊びやスポーツについて、昼の放送で紹介する。(体育委員会) ・なかよし班活動等、縦割り班ごとに遊ぶ日を設定する。(児童会) ・とやま元気っこチャレンジの内容を周知し、運動習慣や生活習慣を見直す。 体② ・チェックカード(※別紙参照)を配布し、学期ごとにメディアと運動のルールを保護者と一緒に決め、振り返る。また、チェック日には保護者のチェック欄も設け、保護者のメディアへの意識高める。 ・平日(基本5日間)のメディア利用時間を振り返り、記録する。週単位で振り返るため、金曜日にチェック表を児童に返却し、各自でチェックする。 ・週明けに「心と体の健康チェック(ハンカチ、ティッシュ、つめ、メディアのルール)」を行い、集計結果を昼の放送で周知する。(保健委員会)